

社会経済状況の激しい変化に対応するため、インフラ分野においてデータとデジタル技術を活用して社会資本や公共サービスを変革し、安全・安心で豊かな生活を実現するDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進しています。

道路分野

道路管理の強化・効率化に向けて、道路観測カメラの設置、カメラ画像のオープンデータ化による道路観測体制の拡充を図るとともに、道路台帳のデジタル化・オープンデータ化を推進しています。

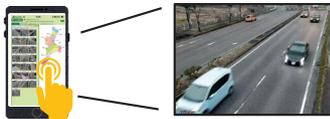
道路観測カメラの設置

令和6年度末：82箇所



カメラ画像のオープンデータ化

令和6年度から規制情報と併せて順次カメラ画像をインターネットで公開中



三重県道路規制情報HP
http://www.douro.pref.mie.jp/camera_map.php

道路台帳のデジタル化・オープンデータ化

令和6年度末から、4事務所の道路台帳附図がインターネット上で自由に閲覧・取得可能



道路情報(幅員等)をポップアップ表示

421	
幅員	4.96.00
加幅	4.01
道路種別	12.00
種別	12.00



Mie Click Maps for 三重県道路情報ページ
<https://experience.arcgis.com/experience/bf0e2813a22454d0c89414dd0c746fa2>

河川分野

重点監視箇所に水位計、カメラを設置し、水位情報や、緊迫感のあるリアルタイムの画像をインターネット上で提供し、地域住民に適切な避難判断を促します。

SNSで情報発信

情報提供



危機管理型水位計

簡易型河川監視カメラ



水防

水防情報の伝達は伝達様式を手書きで作成し、FAXでの送信、電話での着信確認を行っていましたが、システムを導入し伝達様式の自動作成、電子メールと伝達システムでの着信確認を行い、迅速な情報伝達と業務の簡素化を図ります。



災害対応

ドローンによる撮影や、3次元点群データ等のデジタル技術を活用し、被災状況の把握や復旧工法の検討など、作業の安全性向上、効率化を図ります。



地域への継続的な往来・滞留の流れを作り出し、地域経済の活性化に結びつけていくため、活力のある地域の形成を図ります。

津駅周辺道路空間の再編

現在の津駅周辺空間が形成されてから、約半世紀が経過し、将来を見据えた更なる発展が必要です。

「みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間」の創出に向けて、国や市、民間団体と連携をしながら検討を進めています。



みえインフラツーリズムの推進

周遊促進に向けたインフラ施設の観光資源化や、新たな賑わい空間の創出に向けたインフラ空間の活用を取組を進めます。

インフラツーリズムは、若手職員が未来提言をおこなう「若手勉強会」の取組により実現しました。

https://www.pref.mie.lg.jp/KEIMA/CHI/HP/000125281_00017.htm



ナショナルサイクルルート(太平洋岸自転車道)における拠点滞在型観光の促進



世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していくため、自転車通行空間整備の推進に取り組んでいます。